

令和 2 年

第 6 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

令和 2 年 9 月 2 日

令和2年第6回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項についてご報告します。

【教育総務課】

◇市内小・中学校の夏季休業明け前期開始について

市内小・中学校は、夏季休業中に計7日間の臨時登校日を設けて補充授業を行い、8月24日から夏季休業明け前期を開始しました。

開始にあたっては、消毒などの新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、子どもたちも元気に学校生活を送っています。

◇G I G Aスクール構想推進事業について

新型コロナウイルスへの対応として、現在、文部科学省が進める小・中学生1人1台の端末配置を目指した「G I G Aスクール構想」について、令和2年7月2日に内定通知がありました。先の定例会では、市独自のオンライン学習を推進する旨の報告をしましたが、今般の動向を踏まえ、これまでの教育コンピュータ推進事業の一部を見直し、G I G Aスクール構想に沿ったI C T環境の整備を図ります。つきましては、本定例会に補正予算を計上しましたので、ご審議をよろしくお願いします。

◇学校保健特別対策事業について

市内小・中学校の学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る補助金について、令和2年8月3日に交付決定がありました。この事業は、新型コロナウイルスの感染リスクを最小限にしながら十分な教育活動を継続するため、児童・生徒の学習保障に必要な物品等を購入することが目的であることから、各学校の事情と校長の迅速かつ柔軟な対応に配慮し決定しました。つきましては、本定例会に補正予算を計上しましたので、ご審議をよろしくお願いします。

◇ふるさとのきずな市内出身学生応援事業について

新型コロナウイルス感染症の影響で、日常生活が制限されたり実家に帰省できないなど、苦勞されている仙北市出身で仙北市外在住の学生の皆さんを励ますために、仙北市の特産品を届ける、「ふるさとのきずな市内出身学生応援事業」は、7月15日から8月17日まで申請を受け付け、304人から申込がありました。

第1弾として、8月下旬に特産品を発送しました。今後は第2弾を10月、第3弾を12月に発送する予定です。

◇神代小学校の令和元年度全日本学校関係緑化コンクール準特選受賞について

神代小学校は、昨年行われた「秋田県学校関係緑化コンクール」の学校環境緑化の部で県知事賞を受賞し、全国コンクールへ推薦されていました。令和2年3月に中央審査会の審査が行われ、学校環境緑化の部で準特選（全国で4校）受賞が決定していました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、東京都内での表彰式が中止となったため、7月9日、市役所角館庁舎において秋田県教育庁南教育事務所仙北出張所長より神代小学校長へ表彰状が伝達されました。

◇大曲仙北中学校総合体育大会代替大会の主な結果について

新型コロナウイルス感染症の影響により延期されていた大曲仙北中学校総合体育大会の代替大会が、7月11日・12日（雨天のためソフトテニスと野球は13日、野球は13日・18日に延期）に開催されました。

野球では、市内5中学校が全て決勝戦に進出しました。市内中学校同士の決勝となった3区では、角館中学校が優勝、神代中学校が第2位になりました。1区では西明寺中学校と桧木内中学校の合同チームが、2区では生保内中学校がそれぞれ第2位となりました。

柔道の団体戦では、角館中学校が男女ともに第2位、男子で神代中学校が第3位となりました。男子個人戦では、60kg級で角館中

学校3年の鎌田宇朗（かまだ ねお）さんが優勝、神代中学校2年の田口拓歩（たぐち たくと）さんが第2位、66kg級で角館中学校2年の福島誠之介（ふくしま せいのすけ）さんが優勝、73kg級で神代中学校3年の古郡博喜（ふるごおり ひろき）さんが第2位、角館中学校3年の草薨啓斗（くさなぎ けいと）さん、神代中学校2年の津嶋友翔（つしま ゆうと）さんが第3位、90kg超級で神代中学校1年の津嶋来央（つしま らいお）さんが第2位に入りました。女子個人戦でも、選手権の部で角館中学校2年の加藤希望（かとう のぞみ）さんが優勝、児玉さくら（こだま さくら）さんが第2位、児玉さくら（こだま さくら）さんは、52kg級でも優勝しました。

剣道では女子団体戦で角館中学校が第2位、女子個人戦で生保内中学校3年の荒木田結（あらきだ ゆい）さんが第2位、同1年の畠山凜穂（はたけやま りおん）さん、角館中学校3年の大柄叶夢（おおがら かなむ）さんが第3位に入りました。

水泳では角館中学校3年の高橋陽（たかはし ひなた）さんが、女子50m自由形、同100mバタフライで優勝、50m自由形では見事に大会新記録を樹立しました。同200m自由形では西明寺中学校2年の木元凜咲（きもと りさ）さんが第3位となりました。

卓球では団体戦で、角館中学校が男女ともに第3位、女子個人戦で桜木内中学校3年の斎藤心胡（さいとう ここ）さんが第3位に入りました。

また、7月23日に開催された陸上競技の男子では、角館中学校3年の仙波温大（せんば はると）さんが2・3年1500mで、同じく田中龍平（たなか たっぺい）さんが共通走り高跳びで優勝、桜木内中学校3年の武藤大翔（むとう はると）さんが3年100m、角館中学校3年の野村将臣（のむら まさおみ）さんが共通砲丸投げで第2位、神代中学校2年の田口翼（たぐち つばさ）さんが2年100m、同じく3年の遠藤卓（えんどう たく）さんが共通3000m、角館中学校3年の眞崎潤実（まさき まさみ）さん

が共通走り幅跳びで第3位に入りました。

女子では、生保内中学校3年の加藤桃明（かとう もあ）さんが3年100mと共通200mで共に第2位、角館中学校2年の高橋雫（たかはし しずく）さんが2年100m、角館中学校が共通400mリレーで第3位に入賞しています。

なお、令和2年度第69回秋田県中学校総合体育大会スローガンで西明寺中学校3年の栗山駿太（くりやま しゅんた）さんと桜木内中学校3年の浅利菜羽（あさりなのは）さんが優秀賞を受賞しました。

子どもたちの活躍は、目を見張るものがありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度は県大会以上の上位大会が開催されないことを大変残念に思います。

【総合給食センター】

◇総合給食センターの現状について

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言により、実質7日間給食を提供出来ませんでした。学校再開後は夏休みが始まるまで順調に給食を提供することができました。

現在は、新型コロナウイルス感染症対策として1学期分（登校日も含め）の給食費の減免に向けた作業を進めています。

新しい施設に関しては、ガス使用料が当初の想定より多いため、原因を調査したところ機器の初期設定ミスや衛生上器機の乾燥を十分行う必要があることからボイラーの運転時間が増となり、予定の4割ほど多くガスを使用しました。設定ミスについては、業者の責任により補償とし、今後見通したガスの使用料の不足分について、本定例会に補正予算を計上しましたので、ご審議をよろしく申し上げます。

設備関係では、エアコン等の不具合が発生しましたが、迅速に解決しており、今後も安全安心で美味しい給食提供に努めます。

【生涯学習課】

◇子ども演劇体験講座について

演劇を通して、子どもたちの豊かな表現力やコミュニケーション能力の向上を目的とする「子ども演劇体験講座」が8月4日から7日までの4日間、仙北市民会館で開催されました。

3年目となる本講座へは、神代小学校、生保内小学校の5・6年生4人と、角館中学校、西明寺中学校、生保内中学校の1・2年生5人が参加し、劇団わらび座の新作ミュージカル「空!空!!空!!!」に出演する2人の俳優陣から発声練習やダンスなど本格的な指導を受けました。

最終日は、保護者や学校関係者、わらび座の俳優やスタッフなどが見守るなか、息の合った堂々とした演技を披露し、大きな拍手を受けていました。参加した子どもたちは、みんなで演技を考えたりして一生懸命やることができ、楽しかった。また、来年も参加したいと話していました。

◇令和2年度仙北市成人式の延期について

例年、8月15日に仙北市民会館で行われておりました仙北市の成人式について、去る6月10日に、市内在住の新成人代表者で構成する準備委員会で協議した結果、新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあることなどを考慮し、令和2年度の成人式を令和3年1月10日に延期することとしました。

今年度の対象者は、平成11年4月2日から平成12年4月1日生まれの方々と、市内中学校を卒業した229人と、市外からの転入者16人を合わせて、合計245人となります。

【公民館】

◇仙北市文化祭について

例年10月から11月にかけて、角館・西木・田沢湖の各地域で文化祭が開催されますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け、各地区実行委員会で開催について協議・検討がなされまし

た。その結果、感染防止策の徹底にかかる人員の確保が難しいこと、また、来場される対象者は高齢者が多く、感染した際、重症化が心配される、などの理由から、市民の安全を第一に考え、今年度は各実行委員会とも、文化祭の開催中止を決定しました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇角館町割400年記念三館合同企画展「佐竹北家の文化展」について

7月25日から9月13日まで、樺細工伝承館、平福記念美術館、新潮社記念文学館がそれぞれにテーマを設けた角館町割400年記念三館合同企画展を開催しています。

新潮社記念文学館では、佐竹北家の文化的な側面に光を当て、初代佐竹義隣（さたけ よしちか）、二代義明（よしはる）時代の京風文化や文芸、絵画等が隆盛した五代義邦（よしくに）、六代義躬（よしみ）、七代義文（よしぶみ）時代に制作された解体新書、花葉集、和歌集などの書籍や書画、その他関連資料で迎える展示となっていますので、ぜひご鑑賞ください。

【角館町平福記念美術館】

◇一角館町白岩出身の洋画家―没後40年渡辺浩三展について

平福記念美術館も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月末まで休館していたため、予定の会期より早めて6月1日から7月17日まで、一角館町白岩出身の洋画家―没後40年渡辺浩三展を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として移動制限等が行われていた事もあり、会期中の入館者は522人でした。

◇角館町割400年記念三館合同企画展「江戸期の絵画と角館四条派展／平福穂庵とその弟子達展」について

今年は、1620年に角館城主芦名義勝（あしな よしかつ）に

よって角館の町割が行われてから400年の節目に当たることから、樺細工伝承館、新潮社記念文学館、平福記念美術館で、7月25日から9月13日まで、角館町割400年記念三館合同企画展を開催しています。

平福記念美術館では、「江戸期の絵画と角館四条派展／平福穂庵とその弟子達展」と題して江戸時代から近代まで地元で花開いた絵画の文化を紹介しています。

江戸期の絵画と角館四条派展では、小田野直武（おだの なおたけ）、佐竹曙山（さたけ しょざん）、佐竹義躬（さたけ よしみ）等の秋田蘭画をはじめ角館四条派の名品を展示しています。

また、平福穂庵とその弟子達展では、没後130年になる平福穂庵とその弟子、寺崎広業（てらさき こうぎょう）、岡田琴湖（おかだ きんこ）、西宮礼和（にしのみや れいわ）等の秀逸作品を紹介していますので、ぜひご鑑賞ください。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。